

チャリティーコンサート  
傘寿&デビュー50周年

# 大庭照子

## シャンソンを歌う



2019年**3月13日** (水)

14時00分開演 (13時30分開場)

横浜市栄公会堂

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29



### 予定プログラム

愛の讃歌 友情は太陽  
全てが愛のために 生きる  
シャンソン四季メドレー ほか

(曲目は変更になる場合もございます。予めご了承ください)

パーカッション：小林俊介  
ピアノ：小林順子

特別ゲスト：古城都  
(元宝塚トップスター)

入場料  
全自由席 3000円

チケット取扱・お問い合わせ

・社会福祉法人訪問の家後援会  
・NPO法人日本国際童謡館

### 会場アクセス

横浜市栄公会堂  
JR線「本郷台駅」下車 徒歩9分  
JR線「大船駅」よりバス「栄警察署前」下車 徒歩2分

☎045-894-4640 houmon@houmon-no-ie.or.jp  
☎045-562-1950 info@doyokan.net



主催 社会福祉法人 訪問の家後援会 (横浜市栄区桂台中 4-7)

後援 社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

協力 NPO法人日本国際童謡館・株式会社玄米酵素・横浜本郷ロータリークラブ・横浜港南台ライオンズクラブ

## 主催者挨拶

この度チャリティーコンサートを企画するにあたり、20数年にわたり社会福祉法人訪問の家のボランティアを続けてくださってきた童謡歌手でありシャンソン歌手の大庭照子さんをお願いしたいと考えました。お忙しく活躍中のなか、大庭さんは快くお引き受け下さった上、更に嬉しいことに栄区上郷町在住の元宝塚のトップスター古城都さんをお誘い下さり、思いがけない豪華なチャリティーコンサートが実現いたしました。皆さまとご一緒に楽しい時間がもてますように。多くの方のお出でをお待ちいたしております。

社会福祉法人訪問の家 後援会会長 渡邊昌義

## ごあいさつ

私は昨年11月から今年の10月まで傘寿・デビュー50周年記念「大庭照子 シャンソンを歌う」の全国ツアーに取り組んでいます。そんな流れの中で、この度長年お世話になっている訪問の家後援会のチャリティーコンサートに取り上げていただきました。感謝でいっぱいです。

また嬉しいことに、栄区社会福祉協議会の日浦美智江会長との御縁で栄区在住の元宝塚トップスターの古城都さんと20年ぶりに再会出来ました。急なことでしたが特別ゲストをお願いしたところ、あたたかく受け止めていただきました。

シャンソンを通して人生を語り、歌います。是非お出かけください。

NPO法人日本国際童謡館 館長 大庭照子

## ～Profile～

### 大庭照子(NPO日本国際童謡館 館長)

熊本県出身。フェリス女学院短期大学音楽科卒。三宅春恵氏に師事。二期会研究科を経てポピュラー音楽に転向。1968年にポリドールレコード(当時は日本グラマフォンレコード)からシャンソン歌手としてデビュー。その後大庭音楽事務所発足。NHKみんなのうたで「小さな木の実」がヒット。延べ3,000校以上のスクールコンサートに出演。外国アーティストの招聘、シャンソンの祭典『パリ祭』の主催、『全国童謡・唱歌サミット』の開催など多彩に活動。JC青年の船に音楽講師として10年にわたり乗船。全国の老人施設等で開催する『キングラン童謡コンサート』を16年間続け、2016年9月にそがみまこにバトンタッチ。

現在はNPO日本国際童謡館(理事長 高田真理)館長として童謡運動に取り組み、シャンソンコンサート・花ざかりコンサートで全国ツアー展開中。日本ペンクラブ会員。第17回日本童謡賞特別賞受賞、第1回下總院賞(演奏部門)受賞、第35回久留島武彦賞(個人賞)受賞、(2001)くまもと県民文化賞受賞。

### 古城都

宝塚歌劇団月組のトップスターとして、8年半活躍。上月 兎・甲にしき、と共に3Kと呼ばれ、宝塚の黄金時代を支えた。宝塚歌劇団でトップスターとしての公演回数は58公演。主な舞台として「ウエストサイド物語」トニー、「嵐が丘」ヒースクリフ、「ラブソディー」フレンツ、「霧深きエルベのほどり」カールなど。退団後、テレビの司会「ハニー!土曜日です」4年間、ドラマ等主演で活躍。「アデュー宝塚」でも司会を務めた。

宝塚のOG・劇団四季OG達と、後進の育成に力を注いでいる。ミュージカルクラス、宝塚・劇団四季受験クラスの他、呼吸法、気功、ヨガ、ダンス等を取り入れた独自の健康法を考案、幅広い年齢層の生徒に指導している。

自らの舞台としては、一昨年5月、芸術劇場でのリサイタル、ディナーショー等で活躍。行政、学校法人での講演会などで、大勢の方から支持されている。

忙しい毎日の中で、気功、西野流呼吸法、書道、絵画なども精力的に行なっている。

### 小林俊介(写真左)

1981年神戸生まれ。12歳よりパーカッション、16歳よりピアノを始める。大阪音楽大学音楽学部器楽科打楽器専攻入学。クラシック音楽を学びながら在学中よりプロ活動を行う。大学を中途退学し、本格的にプロ活動を開始。クラシック、ポップス、ジャズなどの演奏活動の傍ら、オールディーズライブハウスのハウスバンドに所属し、連日の演奏に加え、多数のタレント、ミュージシャンと共演。現在はフリーランスとして、ポップス、ジャズバンドのライブサポートや学校公演などで活動。音楽教室でのポピュラーピアノ、ドラムの指導も行う。ドラマー、パーカッショニスト、ピアニストとしてジャンルにこだわらないマルチなプレイヤーとして幅広く活動中。

近年では鍵盤ハーモニカにも力を入れており、鍵盤ハーモニカユニット「Bee-dama」としても演奏を行う。

### 小林順子(写真右)

大阪芸術大学ピアノ科卒。ピアノを故金澤益孝氏、田中恵子氏に師事。伴奏法をワルター・モーア氏より学ぶ。卒業後、管楽器や声楽の伴奏ピアニストとして活動する。高校の音楽常勤講師をへて幼児音楽講師を数カ所、10年以上勤める一方、様々な楽器との共演でライブイベントや学校公演などの演奏活動他シャンソン、ジャズ、ポップスなどジャンル枠にとらわれないサポート演奏を行う。

